

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 21 年 8 月 6 日 (2009.8.6)

【公開番号】特開 2008-3393 (P2008-3393A)
 【公開日】平成 20 年 1 月 10 日 (2008.1.10)
 【年通号数】公開・登録公報 2008-001
 【出願番号】特願 2006-174138 (P2006-174138)
 【国際特許分類】

G 0 3 G 15/08 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/08 5 0 4

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 6 月 22 日 (2009.6.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

現像剤を担持し、像担持体に形成された静電像を現像剤で現像する現像剤担持体と、この現像剤担持体に担持された現像剤の量を規制するための現像剤量規制手段と、を有する現像装置において、

前記現像剤量規制手段は、前記現像剤担持体と当接する当接部を有する可撓性の現像剤量規制部材と、前記当接部が前記現像剤担持体に当接するように前記現像剤量規制部材を保持する保持部材と、を備え、

前記現像剤量規制手段は、前記現像剤量規制部材を前記現像剤担持体に押圧して、前記当接部における前記現像剤担持体の回動方向の圧分布において極大値が 2 つ存在するように前記現像剤量規制部材を変形させるように構成されていることを特徴とする現像装置。

【請求項 2】

前記現像剤量規制部材はシート状であり、前記保持部材に U 字形状に保持されることを特徴とする請求項 1 の現像装置。

【請求項 3】

前記現像剤量規制部材はシート状であり、前記保持部材に L 字形状に保持されることを特徴とする請求項 1 の現像装置。

【請求項 4】

前記現像剤量規制部材は可撓性チューブ部材であることを特徴とする請求項 1 の現像装置。

【請求項 5】

画像形成装置に着脱可能であり、請求項 1 乃至 4 のいずれかの現像装置を含むことを特徴とするカートリッジ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 6】

上記目的を達成するために、本発明は、現像剤を担持し、像担持体に形成された静電像

を現像剤で現像する現像剤担持体と、この現像剤担持体に担持された現像剤の量を規制するための現像剤量規制手段と、を有する現像装置において、前記現像剤量規制手段は、前記現像剤担持体と当接する当接部を有する可撓性の現像剤量規制部材と、前記当接部が前記現像剤担持体に当接するように前記現像剤量規制部材を保持する保持部材と、を備え、前記現像剤量規制手段は、前記現像剤量規制部材を前記現像剤担持体に押圧して、前記当接部における前記現像剤担持体の回動方向の圧分布において極大値が２つ存在するように前記現像剤量規制部材を変形させるように構成されていることを特徴とする現像装置である。